

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第28期第3四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	イノテック株式会社
【英訳名】	INNOTECH CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小野 敏彦
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目17番6号
【電話番号】	045-474-9000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 棚橋 祥紀
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目17番6号
【電話番号】	045-474-9000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 棚橋 祥紀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第27期 第3四半期 連結累計期間	第28期 第3四半期 連結累計期間	第27期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	15,140,328	17,254,696	20,548,892
経常利益(千円)	771,083	1,103,542	918,539
四半期(当期)純利益(千円)	441,178	505,759	522,516
四半期包括利益又は包括利益(千円)	370,180	494,407	621,347
純資産額(千円)	22,426,338	22,950,324	22,683,189
総資産額(千円)	25,938,682	27,504,966	26,527,404
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	25.21	28.83	29.85
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	24.78	28.25	29.34
自己資本比率(%)	85.0	81.9	84.0

回次	第27期 第3四半期 連結会計期間	第28期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	3.16	9.06

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の持ち直しや円安による押し上げ効果の本格化などから輸出が堅調に推移し、さらにアベノミクスの追い風を受け内需も好調に推移いたしました。内外需要の底上げにより、製造業を中心に景況感が改善したほか、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見え始めるなど、景気回復に広がりが出てきました。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、低調が続いていた薄型テレビの一部やパソコン等の民生機器関連は年後半にかけ回復の傾向が見られ、スマートフォン、タブレット端末等のモバイルコンピューティング関連、電子部品関連は引き続き好調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高172億54百万円（前年同期比14.0%増）、営業利益9億59百万円（同47.9%増）、経常利益11億3百万円（同43.1%増）、四半期純利益5億5百万円（同14.6%増）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第3四半期連結累計期間分を変更後の算定方法により組み替えて行っております。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、仕入先・顧客など取引先との関係強化及び新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、他社製品からの移行や長期契約の更新、及び新規顧客の獲得などにより好調に推移いたしました。自社製テストシステムは、海外向けが引き続き堅調に推移したほか、国内半導体メーカーにおきましても需要回復の兆しが見え始め、増収増益となりました。また、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスも堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は106億22百万円（前年同期比33.5%増）、セグメント利益は17億27百万円（同85.1%増）となりました。

〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。ハードディスク部門は、OA・FA市場の低迷により、前年同期比で売上高が大きく落ち込みました。デバイス部門は、高画質デジタル機器対応チップの需要に回復が見られたものの、自社製組込みボード、レーザーダイオードドライバーは価格競争の激化により売上高が減少いたしました。アイティアアクセス株式会社は、受託開発が開発効率向上により堅調に推移したものの、組込みソフトウェアのライセンス販売の不調等により前年同期実績を下回りました。

その結果、当事業の売上高は66億32百万円（同7.7%減）、セグメント損失は3億17百万円（前年同期はセグメント利益86百万円）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億72百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについての重要な変更はありません。

(5) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第3四半期連結累計期間において、経営者の問題認識と今後の方針に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	18,218,901	18,218,901	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式 単元株式数 100株
計	18,218,901	18,218,901	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	18,218,901	-	10,517,159	-	4,530,755

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 653,400	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数 100株
完全議決権株式(その他) (注)	普通株式 17,563,600	175,636	同上
単元未満株式	普通株式 1,901	-	-
発行済株式総数	18,218,901	-	-
総株主の議決権	-	175,636	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,100株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数11個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イノテック株式会社	神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目17番6号	653,400	-	653,400	3.59
計	-	653,400	-	653,400	3.59

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,902,539	4,630,935
受取手形及び売掛金	6,346,203	7,485,768
商品及び製品	1,163,110	1,573,199
その他	1,962,753	1,650,145
貸倒引当金	1,302	19,229
流動資産合計	14,373,305	15,320,820
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,698,072	7,716,095
減価償却累計額	3,596,369	3,697,545
建物及び構築物(純額)	4,101,703	4,018,550
土地	5,668,131	5,668,131
その他	799,480	799,299
減価償却累計額	545,627	543,192
その他(純額)	253,852	256,107
有形固定資産合計	10,023,687	9,942,789
無形固定資産		
のれん	134,620	99,941
その他	140,668	178,989
無形固定資産合計	275,289	278,930
投資その他の資産		
投資有価証券	1,106,845	1,087,508
その他	755,974	880,671
貸倒引当金	7,697	5,754
投資その他の資産合計	1,855,122	1,962,426
固定資産合計	12,154,098	12,184,146
資産合計	26,527,404	27,504,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,265,754	1,336,115
未払法人税等	167,401	303,923
賞与引当金	30,597	110,754
役員賞与引当金	-	5,300
その他	1,911,176	2,330,768
流動負債合計	3,374,930	4,086,861
固定負債		
退職給付引当金	234,936	222,851
役員退職慰労引当金	58,770	67,369
その他	175,578	177,560
固定負債合計	469,284	467,780
負債合計	3,844,215	4,554,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,320,858	7,323,460
利益剰余金	4,672,896	4,912,566
自己株式	283,010	258,521
株主資本合計	22,227,903	22,494,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,372	109,800
繰延ヘッジ損益	5,497	32,618
為替換算調整勘定	12,947	31,703
その他の包括利益累計額合計	60,822	45,478
新株予約権	183,089	194,815
少数株主持分	211,373	215,365
純資産合計	22,683,189	22,950,324
負債純資産合計	26,527,404	27,504,966

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	15,140,328	17,254,696
売上原価	11,003,865	12,616,034
売上総利益	4,136,463	4,638,661
販売費及び一般管理費	3,487,653	3,679,187
営業利益	648,810	959,473
営業外収益		
不動産賃貸料	321,631	333,729
その他	65,561	83,352
営業外収益合計	387,192	417,082
営業外費用		
不動産賃貸費用	244,579	247,872
その他	20,340	25,141
営業外費用合計	264,919	273,014
経常利益	771,083	1,103,542
特別利益		
投資有価証券売却益	23,372	83,580
その他	-	1,470
特別利益合計	23,372	85,050
特別損失		
投資有価証券評価損	-	216,264
関係会社整理損	-	77,746
その他	-	2
特別損失合計	-	294,012
税金等調整前四半期純利益	794,455	894,580
法人税等	345,624	384,828
少数株主損益調整前四半期純利益	448,830	509,751
少数株主利益	7,652	3,992
四半期純利益	441,178	505,759

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	448,830	509,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,514	56,427
繰延ヘッジ損益	16,991	27,121
為替換算調整勘定	22,143	44,650
その他の包括利益合計	78,649	15,344
四半期包括利益	370,180	494,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,528	490,415
少数株主に係る四半期包括利益	7,652	3,992

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、ウインクエフエックス株式会社は重要性が増加したため、持分法適用の範囲に含めておりましたが、当第3四半期連結会計期間に清算手続きに入ることとなり、重要性が低下したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	250,048千円	244,343千円
のれんの償却額	28,659	34,679

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	122,525	7	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金
平成24年11月8日 取締役会	普通株式	122,524	7	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	122,524	7	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金
平成25年11月8日 取締役会	普通株式	122,958	7	平成25年9月30日	平成25年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,956,824	7,183,504	15,140,328	-	15,140,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,956,824	7,183,504	15,140,328	-	15,140,328
セグメント利益	933,041	86,457	1,019,498	370,688	648,810

(注)1.セグメント利益の調整額 370,688千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 370,870千円及び棚卸資産の調整額182千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1.報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,622,177	6,632,518	17,254,696	-	17,254,696
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	10,622,177	6,632,518	17,254,696	-	17,254,696
セグメント利益又は損失()	1,727,285	317,531	1,409,754	450,280	959,473

(注)1.セグメント利益又は損失()の調整額 450,280千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 449,992千円及び棚卸資産の調整額 287千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2.報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの業況をより適切に把握するため、販売費及び一般管理費の配賦方法の見直しを行い、従来、各報告セグメントに配賦していた管理費用の一部を各報告セグメントに配賦せず調整額に含めることとしております。

なお、前第3四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	25円21銭	28円83銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	441,178	505,759
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	441,178	505,759
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,503	17,544
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	24円78銭	28円25銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	297	356
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....122,958千円

(ロ) 1株当たりの金額.....7円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月9日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

イノテック株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 布施 伸章 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 内田 淳一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイノテック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イノテック株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。